

# Nexus 93180YC-EXリーフスイッチの交換 – CPAR

## 内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[省略形](#)

[MoPのワークフロー](#)

[UltraMセットアップのリーフスイッチ](#)

[前提条件](#)

[スイッチ交換手順](#)

## 概要

このドキュメントでは、Ultra-Mセットアップで障害のあるリーフスイッチ(Nexus 93180YC-EX)を交換するために必要な手順について説明します。

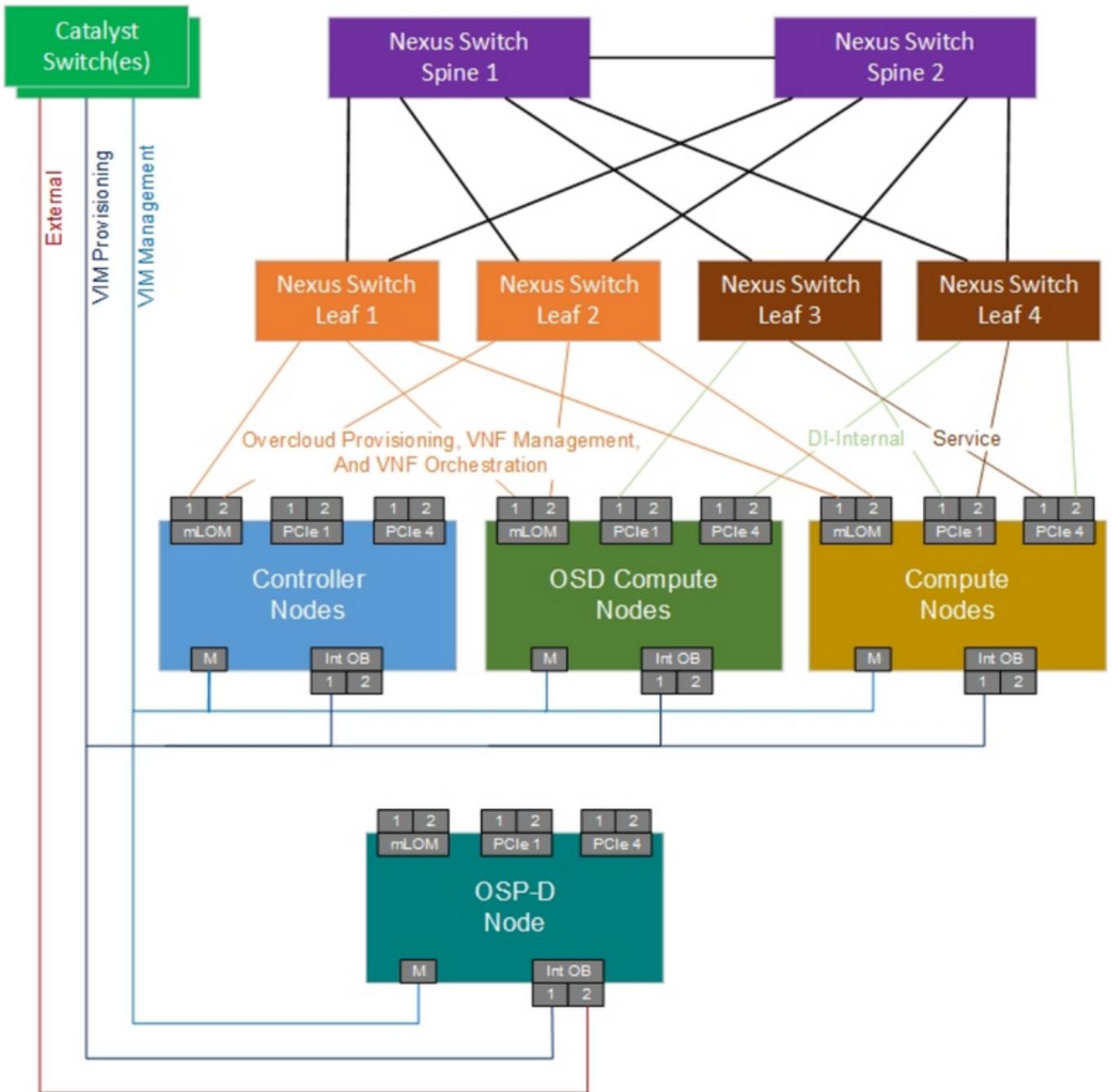
この手順は、ESCがCisco Prime Access Registrar(CPAR)を管理せず、CPARがOpenstackに導入されたVMに直接インストールされているNEWTONバージョンを使用するOpenstack環境に適用されます。

## 背景説明

Ultra-Mは、VNFの導入を簡素化するように設計された、パッケージ化および検証済みの仮想化モジュールコアソリューションです。Ultra-Mセットアップの一部であるサーバは、次の3種類のスイッチに接続されます。

- Catalyst スイッチ
- リーフスイッチ
- スパインスイッチ

Ultra-Mセットアップのネットワークトポロジを図に示します。



注：ネットワークポロジは単なる表現であり、スイッチ間の接続は若干異なる場合があります、導入するソリューションによって異なります。

このドキュメントは、Cisco Ultra-MセットアップおよびNexusスイッチに精通しているシスコの担当者を対象としています。

## 省略形

VNF	仮想ネットワーク機能
API	アプリケーションプログラミングインターフェイス
MOP	手続きの方法
DI	分散インスタンス
FTP	File Transfer Protocol ( ファ

SFTP	ファイル転送プロトコル ) の略。 Secure File Transfer Protocol
BGP	ボーダーゲートウェイプロト コル
bfd	双方向転送検出

## MoPのワークフロー

この図は、交換手順のワークフローの概要を示しています。

